

## 学芸員課程

学芸員課程は、美術館・博物館などにおける学芸員をめざすための課程です。

受講にあたっては、別途手続きや費用が必要になり、また科目の履修方法についても多くの要件がありますので、下記の事項をよく読み、理解をした上で受講をしてください。

### 教育目標（育成する人材像）

資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及活動等の博物館活動に従事する学芸員としての資質・能力を有する人材を育成する。

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

#### 修得する能力

探求力	学芸員の職務に結びついた基礎的な知識と技術を習得するとともに、それぞれの専門分野においてより掘り下げた考究ができる。
思考力	新たな洞察によって問題解決に導く創造的思考 (Creative thinking) と同時に、これとは対照的に、問題の解決にあたって、誤りがないかどうか絶え間ない検証を行う認知的方略である批判的思考 (Critical thinking) を行うことができる
発想・構想力	展覧会の企画・立案等の博物館活動を運営管理する能力を備えている。
表現力	美術館・博物館での展示やさまざまなメディアによる情報の発信が的確にできる。
行動力	学芸員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動を取ることができる。
継続力	自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、つねに学び続けようとする姿勢を持つ。
コミュニケーション力	来館者と資料を介して対話ができる。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

学芸員として求められる下記4つの事項について、これらを身につけることを目標とする。

- ①資料およびその専門分野に必要な知識及び研究能力
- ②資料の収集・保管・展示等の実践技術
- ③資料等を介して、あるいは来館者との直接的な対話等において高いコミュニケーション能力を有し、地域課題の解決に寄与する教育活動等を展開できる力
- ④住民ニーズの的確な把握と住民参画の促進、これに応える事業等の企画・立案から評価、改善まで、一連の博物館活動を運営管理できる能力

1年次で美術史を履修し、学芸員にとって必須の基礎的素養を身につける。

2年次で受講登録をし、3年次までに博物館に関する科目19単位中、18単位までを履修し終える。

4年次でそれまでに修得した理論を実践に移す場として館園実習に出かける。

上記と並行して、周辺分野として必要とされる美術史、文化史、考古学、民俗学の各分野について学修する。

## 学芸員課程

学芸員課程は、美術館・博物館などにおける学芸員をめざすための課程です。

受講にあたっては、別途手続きや費用が必要になり、また科目の履修方法についても多くの要件がありますので、下記の事項をよく読み、理解をした上で受講をしてください。

### 1 学芸員課程の受講にあたって

学芸員課程の受講にあたっては、単に授業のみを受講して資格取得をめざすだけにとどまらず、より深く幅広い知識を得ること、社会に出る一人の人間としての常識を身につけることが必要です。

4月はじめに新入生向けの資格課程ガイダンスを行ないます。学芸員課程の履修を希望する人は必ず出席してください。

### 2 学芸員課程の履修スケジュール

学芸員課程の科目履修の学年ごとの科目配当を下表に示しました。

このなかには3年次終了時点で履修を終えておかななければならない科目が設定されており、また在学中に必要な科目の履修を終えられなかった場合には卒業後にその科目を履修することはできません。したがって、履修をはじめるにあたっては、あらかじめ各年次の履修計画をきちんと立てた上で履修を行なうようにしてください。

	博物館に関する科目（19単位）		関連科目（10単位以上選択必修）	
1年次			美術史 2単位	美術史を除く関連科目 8単位以上
2年次	博物館概論 博物館資料論	博物館情報・メディア論 博物館教育論 生涯学習概論 博物館資料保存論 博物館展示論		
3年次	博物館経営論 博物館実習Ⅰ			
4年次	博物館実習Ⅱ			

### 3 博物館実習について

博物館実習は授業時間内に行う実習（「博物館実習Ⅰ」）と、本学芸術館や学外の美術館・博物館で行う館務実習（「博物館実習Ⅱ」）があり、本学では3年次に「博物館実習Ⅰ」を、4年次に「博物館実習Ⅱ」を履修します。

「博物館実習Ⅱ」については、3年次の12月にガイダンスを実施しますので、4年次に「博物館実習Ⅱ」を履修予定の人は必ずこのガイダンスに出席してください。出席していない場合は「博物館実習Ⅱ」の履修を認めません。

#### ●「博物館実習Ⅱ」の履修要件

この科目は4年次に履修しますが、3年次終了時点で下記要件を満たしていなければ履修できません。

3年次終了までに以下の要件が揃うようにあらかじめ履修計画を立てて学習を進めるようにしてください。

- ①博物館概論、博物館資料論、博物館経営論、博物館実習Ⅰを含む7科目14単位以上を修得していること。
- ②上記以外の博物館に関する科目や、関連科目の単位が4年次終了までに修得できる見込みであること。

### 4 学芸員課程の受講方法

学芸員課程の受講登録は2年次のはじめに行ないます。

#### ●受講登録：2年次はじめ

#### ●受講登録要件：

##### ①1年次で芸術教養科目「美術史」の単位を修得していること

美術史は学芸員として働くために必要な基本的知識の1つです。本学では学芸員課程の履修にあたり、美術史の知識の習得を義務付けています。学芸員課程の履修を希望する場合は、1年次で「美術史」を履修登録し、単位を修得してください。

## ②学芸員課程履修ガイダンスに出席すること

1年次の年度末に、学芸員課程履修についてのガイダンスを行ないます。履修開始にあたっての詳しい手続等を説明しますので、履修希望者は必ず出席してください。ガイダンスの日時・場所等の詳細については決まり次第、学芸員課程掲示板に掲示してお知らせします。

### ●受講登録手続：

#### ①履修登録

シラバスの内容やガイダンス資料をよく読んだ上で、学芸員資格に必要な科目のうち、その年度に履修する科目を登録してください。履修登録にあたっては、事前にエントリーが必要な科目もありますので注意してください。

#### ②申込用紙の提出と受講料の納入

ガイダンス時に配布する「学芸員課程受講料納入書」に必要事項を記入し、教学事務室の証紙販売機で「学芸員受講料」の証紙を購入、貼付して教務窓口へ提出。

受講料の納入期間：4月4日（木）～4月4日（木）17：00 提出先：教学事務室教務窓口

※締切までに受講料の納入がない場合は、学芸員課程の履修を放棄したものと見なし、博物館に関する科目の履修を取り消します。

### ●受講料：35,000円

※2年次の履修開始時に一括納入していただきます。途中で履修を中止した場合も返金はありません。

## 5 履修にあたっての注意事項

### クラスルームを必ず確認してください（2年次以降）

学芸員課程の受講や科目に関する連絡事項は全て「〇〇年度実習生」とついたクラスルームにてお知らせします。学芸員課程受講者は定期的に確認するようにしてください。

ただし、学芸員資格のために芸術教養科目や他学科の科目を履修している場合は、芸術教養科目の掲示板（人間館ピロティに設置）、クラスルーム等やその科目を開講している学科の掲示板等も確認するようにしてください。

掲示の見落としにより不都合が生じた場合は受講生自身の責任となります。

1年次については在学生専用サイト（ガイダンス特設サイト含）等やA-portal上で新2年次の学芸員課程ガイダンスの日時等見逃さないよう確認をしておいてください。

## 6. 学芸員資格取得要件科目

### ■博物館に関する科目

学芸員課程受講者のみ履修できます。卒業に必要な単位として、教職に関する科目（教職課程）と合わせて12単位まで認定します。

講義コード	授業科目名	履修年次	単位数	必修・選択	開講期・曜日・講時			担当教員	備考
					前期	後期	講時		
38201001	博物館概論A	2年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	火	3	田中梨枝子	
38201002	博物館概論B	2年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	火	4	中塚宏行	
38201003	博物館資料論A	2年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	月	4	前川志織	
38201004	博物館資料論B	2年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	月	2	前川志織	
38201011	生涯学習概論A	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	火	1	武井二葉	
38201012	生涯学習概論B	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	火	1	武井二葉	
38201021	博物館資料保存論A	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	土	3	上羽真弓	
38201022	博物館資料保存論B	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	火	4	伊達仁美	
38201023	博物館展示論A	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	月	2	本橋弥生	
38201024	博物館展示論B	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	月	3	前川志織	
38201007	博物館情報・メディア論A	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	土	2	和田積希	
38201008	博物館情報・メディア論B	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	火	3	前川志織	
38201009	博物館教育論A	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	火	4	鳥賀陽梨沙	
38201010	博物館教育論B	2・3年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	月	4	鳥賀陽梨沙	
38201005	博物館経営論A	3年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	月	3	前川志織	
38201006	博物館経営論B	3年	2	AまたはB いずれか 必修	後期	月	4	前川志織	
38201013	博物館実習IA	3年	2	AまたはB いずれか 必修	前期	月	1, 2	林潤平	
38201014	博物館実習IB	3年	2		前期	火	1, 2	前川志織	
38201015	博物館実習IC	3年	2		後期	月	1, 2	梶原誠太郎	
38201016	博物館実習ID	3年	2		後期	月	3, 4	伊藤廣之	
38201017	博物館実習IE	3年	2		後期	火	1, 2	安河内宏法	
38201018	博物館実習IF（閉講予定）	3年	2		後期	火	1, 2	前川志織	人数調整のため閉講予定
38201019	博物館実習IG	3年	2		後期	火	3, 4	仁方越洪輝	
38201020	博物館実習II	4年	1		必修	通年集中			前川志織・田中梨枝子

### ■関連科目

芸術教養センター開講の「美術史」（必修）の履修および、「文化史」「美術史※芸教の美術史を除く」「考古学」「民俗学」の各区分よりそれぞれ1科目以上履修すること。

講義コード	授業科目名	履修年次	単位数	必修・選択	備考	区分	開設学科
	文化史	2年以上	2	選択	いずれか1科目以上選択	文化史	芸術教養センター
	芸術史講義Ⅲ（日本）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義Ⅲ（アジア）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義Ⅲ（ヨーロッパ）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義Ⅲ（近現代）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義Ⅳ（日本）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義Ⅳ（アジア）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義Ⅳ（ヨーロッパ）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義Ⅳ（近現代）	1年以上	2	選択			
	芸術史I	1年以上	2	選択			
	芸術史II	1年以上	2	選択			
	芸術史III	1年以上	2	選択			
	芸術史IV	1年以上	2	選択			
	美術史	1年	2	必修	「美術史（芸術教養センター）」必修、その他科目から いずれか1科目以上選択 ※2 美術史I～IVはアートプロ デュース学科学生のみ対象	美術史	アートプロデュース学科
	芸術史講義I（日本）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義I（アジア）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義I（ヨーロッパ）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義I（近現代）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義II（日本）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義II（アジア）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義II（ヨーロッパ）	1年以上	2	選択			
	芸術史講義II（近現代）	1年以上	2	選択			
	美術史I ※2	2年以上	2	選択			
	美術史II ※2	2年以上	2	選択			
	美術史III ※2	2年以上	2	選択			
	美術史IV ※2	2年以上	2	選択			
	美術史V	2年以上	2	選択			
	美術史VI	2年以上	2	選択			
	美術工芸史I	2年以上	2	選択			
	美術工芸史II	2年以上	2	選択			
	美術工芸史III	2年以上	2	選択			
	美術工芸史IV	2年以上	2	選択			
	考古学I	2年以上	2	選択	考古学	歴史遺産学科	
	民俗学	2年以上	2	選択	民俗学	芸術教養センター	

・上記の〈選択科目〉の表に記載のコードは、自分の所属学科以外の科目を履修登録する場合にのみ使用します。これらは他学科開放科目のコードとは異なります。混同しないように注意してください。

・アートプロデュース学科、美術工芸学科および歴史遺産学科の学生が、上記の自学科開講の科目（開設学科欄に記載）を履修する場合は上表左端のコードではなく、自学科の開講表に記載のコードを使ってください。また創造学習科目／芸術教養科目のコードについては創造学習科目／芸術教養科目の該当ページを参照してください。

・アートプロデュース学科、美術工芸学科および歴史遺産学科の学生が、上記の自学科開講の科目を履修する場合の履修年次は上表の履修年次ではなく、自学科の開講表に記載の履修年次にしたがってください。

・関連科目は休講していることもありますので、開講先の学科・センターの学修ガイド等ご確認ください。